

ASEAN経済10閣僚が揃って！ 産業技術大学院大学及び都立産業技術高等専門学校を視察 — 成長するアジアを支える高度専門職人材育成に向けて —

平成24年4月27日（金）、ASEAN10か国の経済大臣及びASEAN事務総長は、産業技術大学院大学（学長 石島辰太郎）及び都立産業技術高等専門学校（校長 荒金善裕）を訪問します。これは、平成24年4月25日（水）から28日（土）の日程でASEAN経済閣僚と日本の政官財界とが意見交換等を行う「ASEANロードショー」の一環として、国際組織APEN（Asia Professional Education Network）の呼びかけに応じて行われるものです。

現在、ASEAN各国は急速な工業化、経済成長を進めているところであり、今後の一層の発展のためには、新たな高度専門職人材育成の教育システムの確立が不可欠になります。そのため、複線型人材育成ルートの一つである都立産業技術高等専門学校から産業技術大学院大学へとつながるものづくり人材9年間一貫教育の現場を視察することになりました。

今後、本視察を機にASEAN各国において、新たな教育システムの実現に向けた検討がなされることが期待されます。

4月27日（金）の取材を希望される場合は、下記、問い合わせ先へご連絡下さい。

（参考）

○APEN（アジア高度専門職人材育成ネットワーク）

APEN（会長 石島辰太郎）は、大学（大学院）教育における高度産業人材開発方法として優れているPBL（Project Based Learning）型教育を発展させ、かつアジアに普及することを目的として、産業技術大学院大学が主導して2011年6月6日に設立された国際組織です。現在、加盟大学数は10校、10か国（日本、中国、韓国、ベトナム、カンボジア、インドネシア、タイ、マレーシア、ラオス、シンガポール）となっています。事務局は、産業技術大学院大学が務めています。

【問い合わせ先】 産業技術大学院大学管理部管理課

電話 03-3472-7831 Fax 03-3472-2790